



9がつのほけんだより

令和4年度 9月 江上保育園 ほけんだより



怪我の応急手当

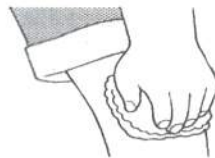


子どもは転んですりむいたり、友だちとぶつかったりと、よくけがをします。いざという時、応急手当などの対応ができるようにしておきましょう。

すりきず・きりきず



傷口やその周囲を水道水でよく洗い流します。



傷口を清潔なガーゼなどで押さえて止血し、市販の傷パットなどで覆って保護しましょう。



こんな時は病院へ

砂利などが多くついて取れない、鋭利なもので切った、出血が続く、傷口が深く大きい、化膿した、動物にかまれたときなど。



子どもの爪は柔らかく割れやすく、お友達や自分を傷つけてしまわないように、定期的に切ってあげましょう。

爪や爪周りのけが



傷口を流水でよく流します。

清潔なガーゼなどで傷を覆います（爪がはがれたときは、そのまま爪を元に戻します）

こんな時は病院へ

爪がはがれて痛む、化膿した、爪が大きくなって出血したときなど。

打撲・転落



チェック！！

- ・意識はあるか
- ・何でぶつけたか
- ・どこから落ちたか
- ・どこを打撲したか

傷がある場合は止血する。

打撲箇所を冷やす。

楽な姿勢で休ませます。

受傷直後は症状が出にくい場合もあるため、24時間は注意してみてください。



こんな時は病院へ

ぐったりしている、吐く、出血が多い、顔（特に目や鼻）を打った、激しくせき込んでいる、腫れがひどい、息をするたび痛む時など。



こんな時は救急車を呼びましょう

意識がない、もうろうとしている、呼吸が苦しそう、呼吸をしていない、けいれんしている、高いところから落ちた、頭、背中、胸、顔面を強く打った、まひやしびれがある、何度も吐く、出血が止まらない時など。